

令和4年度 知事と市町村長との意見交換会 《議事録》

- 1 日 時 令和5年2月8日（水）16：55～17：50
 - 2 開催方法 オンライン会議
 - 3 出席者
 - (1) 市町村
市町村長（横浜市、川崎市及び横須賀市は副市長が代理出席、厚木市及び南足柄市は欠席）、市長会事務局長及び町村会事務局長
 - (2) 県
知事、武井副知事、小板橋副知事、首藤副知事、理事（いのち・未来戦略担当）、政策局長、総務局長、くらし安全防災局長、国際文化観光局長、スポーツ局長、環境農政局長、福祉子どもみらい局長、健康医療局長、産業労働局長、県土整備局長、教育局長、共生担当局長及び警察本部交通部長
 - 4 会議の概要
 - (1) 県からの説明（4項目）
 - 令和5年度当初予算案について
 - 令和5年度市町村自治振興事業会計の概要について
 - 神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例
～ともに生きる社会を目指して～について
 - 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に係る考え方について
 - (2) 意見交換
- <資料配付のみ>
- ・ 令和5年度当初予算案の概要

(意見交換の主な内容)

【藤沢市長】

私からは1点、お伺いをしたい。

先日、平塚市で行われた「ツインシティ大神地区まちびらき」に伺ったところですが、令和5年度当初予算案にどのように反映されているのか分からないので、質問させていただきます。

「まちびらき」に御参加されていた皆さんからも、「東海道新幹線の新駅について、早く着手していただきたい」という発言がありました。

リニア中央新幹線が決まった後では大変遅くなってしまおうと考えており、黒岩知事が「神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会」の会長でもありますので、是非、県において強力に進めていただきたいと思っています。

また、このエリアの北には小田急線、南にはJR東海道線がそれぞれ県を横断しており、その中間に相鉄いずみ野線があります。この相鉄いずみ野線に関して、東海道新幹線新駅の誘致地区である倉見までの延伸が実現すれば、今後の県の活性化に繋がってきますので、是非とも積極的に取り組んでいただきたい。

【県土整備局長】

ツインシティの関係について、先だって平塚市側の「まちびらき」が行われたことから、寒川町側がどうなっているのかという部分は確かにあります。

寒川町側については、少し遅れていますが、住民の方々に対し、「新駅ができた時の周辺のまちづくりをどうしていくか」、「今後のまちづくりで、どんなことが必要か」といった聞き取りを大分できるようになってきました。まずは、そういった地域の意向を伺い、計画に反映させることをこれから進めたいと考えています。

東海道新幹線新駅に至る相鉄いずみ野線の延伸については、実現に当たって、事業の採算性や事業スキームをどうするかという部分が依然として課題です。

事業採算性については、コストを抑えて、収入をいかに確保するかということになってきます。コストを抑える方法に関し、どんな方法があるのかというのは、今検討しているところです。

藤沢市においても、需要を喚起するために、健康と文化の森地区のまちづくりの熟度を高めていただいております、感謝申し上げます。

ただ、鉄道事業の採算性を上げるためには、もっと需要を喚起する必要があることから、さらにどんな取り組みができるのかということも継続して考えていきます。また、国からも相当の補助をいただかないと、鉄道事業の採算性は成り立たないと考えており、国に対し、さらなる補助を要望していく必要があ

ります。

いずれにしても、戦略を立てて、藤沢市と一緒に共同戦線で取り組んでいかななくてはならないと考えており、御相談申し上げることもあると思いますので、引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

【藤沢市長】

来年度は一步も二歩も進むように協力していきたいので、是非、よろしくお願いいたします。

【市町村課長】

続きまして、海老名市長、よろしくお願いいたします。

【海老名市長】

私からは2点あります。

1点目は、国が中小企業等の生産向上や賃上げの促進のために、償却資産の導入に係る特例措置による減額ということを訴えています。これについては基準財政収入額に反映されたため、普通交付税不交付団体の補填が全くありません。固定資産税をいじられると大変な状況がありますので、この点について、県としても断固抗議していただき、補填分を特例交付金で交付するよう、国に働きかけていただきたい。

2点目は、県市長会において、昨年から話題となっている銀行の窓口収納手数料の関係についてです。明日の市長会で詳細は話し合うことになっています。ある程度の経費は免れないものと認識はしていますが、県としても、市県民税の窓口収納手数料の経費負担について、前向きに検討をしていただきたい。

最後に、知事が総括でお答えになると思うのですが、これから県議会において、知事が4選に向けての答弁をすると想定される中、今回の予算を見ると、4選に向けたインパクトが少ないという印象を受けました。このことについて、知事から一言あれば最後によろしくお願いしたいと思います。

【総務局長】

固定資産税の関係については、少し整理させていただき、説明させていただきます。

銀行の窓口収納手数料に関しては、県にも同様の話が来ており、県会計局で対応しているところですが、市町村の御意見もいろいろ聞きながら検討し、進めていくこととしています。

【市町村課長】

固定資産税の関係について、令和3年度、令和4年度と固定資産税の負担調整措置の関係で、やはり不交付団体が割を食ったというお話もいただいています。この話もしっかりと意見として汲んで、国に申し上げていきたいと思っています。海老名市長、よろしいでしょうか。

【海老名市長】

知事からも一言あれば、お願いします。

【知事】

最後に言います。

【市町村課長】

他に御発言を御希望の方、いらっしゃいませんか。では、中井町長お願いします。

【中井町長】

医療機関に限られた地域としての今後のコロナ対策ということで、必要な方に必要な医療を届けられるようにすることは、本当に大事だと思っています。

また、外来医療機関をしっかりと守っていくために、コロナ感染が疑われる場合には、資料にもあるとおりセルフチェックテストの推進と同時に、県も進めてこられたオンライン診療を継続していただきたい。やはり、そこで一つのスクリーニングを実施していただく体制を維持していただきたいと思っています。

特に7月、冬場は流行期となりやすいことから、戦略的に対応していきたいと思っています。受診マナーについても、もちろん周知していきますが、この3年で学んだことで、セルフチェックと同時にオンライン診療についての考えを伺えたらと思います。

【健康医療局長】

県においても、オンライン診療を進めていただくために、9月補正予算でオンライン診療に必要な情報通信機器等の整備に対する補助を追加で措置しています。また、オンライン診療に慣れていない医療従事者もいらっしゃるということから、新たに作った「かながわコロナオンライン診療所」で経験を積んでいただき、自身の診療所等で広げていただくということにもトライしているところ です。

現在、いくつかオンライン診療所を開設していますが、当初は補助金の申請数も1桁台で少ない状況でした。今、ようやく100にも近づいてきており、オンライン診療が広がり始めたかなと思っています。

一方、医療従事者からはオンライン診療に対して、「手数料がかかるなど、難点がある」「患者さんの顔色など、しっかりと細かい部分まで診察できるのか不安」といったような様々な御意見もいただいています。

ただ、ビルの中で開業しているクリニックなどは、オンライン診療でないと患者を受けられないという物理的な状況もありますので、引き続き、今取り組んでいる工夫は続けていき、オンライン診療を経験していただけるような場を維持しつつ、補助も使いながら、オンライン診療をしていただける医療機関を増やしていきたいと思っています。

また、セルフチェック用の抗原検査キットについて、県でアンケートをしてみると、「購入するには、値段が若干高い」という意見があります。

市中に出回る数を見ていくと、一人ひとりに逐一補助していくというのは非常に大変であると思っています。

県としては、従来から国に対し、「製造元に資金を投入し、まずは販売単価を下げ、数量がより出回るようにし、その量産効果で値段が下がるようにしてほしい」と伝えていますが、なかなかその辺りの動きが見えてこない現状であります。「末端の小売価格までコントロールすることはいろいろな難点もある」との認識かと推察していますが、引き続き、この点については国に求めていきたいと思っています。そして、買い求めやすい価格を実現して、セルフチェックができるよう、各家庭での常備につなげていきたいと思っています。

【中井町長】

後遺症等もありますので、是非、継続的な支援をお願いします。

【市町村課長】

他に発言の御希望はありますでしょうか。宜しければ、意見を頂戴するのはここまでにしたいと思います。最後に、知事から一言お願いします。

【知事】

ありがとうございました。

先日、ツインシティの平塚市側の「まちびらき」に伺った際も申し上げましたが、ツインシティというのは相方があって初めてツインでありますので、寒川町側の開発についても進めていただき、早くツインシティの形になって欲しいと思っています。東海道新幹線の新駅についても、ツインシティとセットと

なっていますから、ツインシティが早く完成するよう是非お願いしたい。

相鉄いずみ野線の延伸については、私も以前から繰り返し強調してお伝えしているのですが、相模鉄道からは中々良い返事をいただけていない。民間会社のため採算性が大事ということで、そこは非常に固い。どれだけ乗降客がいるかということが大きな焦点となっており、いかに魅力的なまちをつくるかということにつながってくるので、強力に進めていただきたいと思っています。こういうこととセットで、これからも強く要望していきたいと思っているところでもあります。

また、海老名市の内野市長から「インパクトが足りない」といったお話をいただき、温かいお言葉だと思って受けとめていますが、選挙のために、この予算を組んだという意識は元々ありません。選挙の時は選挙の時でインパクトのある訴え方を是非行っていきたいと思っています。

この予算自体は、「子ども・子育て施策の充実」や「新型コロナウイルス感染症対策」等々ある中、「脱炭素社会の実現に向けた取組」など様々なところにも配慮した形で、総体的には相当よくできた予算になったと自負をしているところでもあります。

例えば、「神奈川県水防災戦略」についても大幅に増額をし、県民生活に直結するところもしっかり取り組んでいくという姿勢を示しています。

それから「災害対応」という中で、市町村長の皆さんもちょっと引がかかったかなと感じたのは、何度も出てきた「トイレプロジェクト」かと思います。大規模災害が起きた時、皆さんが一番不自由されるのはトイレだと思います。阪神淡路大震災直後、私も当時はジャーナリストとして現場に向かったわけですが、避難所でのトイレが大変な状況になっていました。あの状況は何とかなくってはならない。平時からの準備が大事であることから、あえて「トイレプロジェクト」を強力に進めていくことを打ち出しました。

携帯トイレの話もありましたが、行政が準備するトイレをより一層整備していくことが大事だと思っています。また、いざという時には、いろいろなところをうまく活用できるような形にしていくことも必要ですし、仮設トイレも必要だと考えています。

携帯トイレについては、要するに一人ひとりが自分の身を守るという視点でトイレを用意して欲しいという意味でもあるのです。断水の際、水を流さないで自宅で処理する方法など、自助におけるトイレに関する啓発活動等についても、しっかりと取り組むことを打ち出そうとしているわけでもあります。

そういった中、全体としてはある種そういう細かいソフト的な部分まで気を配った予算になっているはずでありますので、そういった意味でのインパクトといったことで、是非受けとめていただきたいと思う次第であります。

どうもありがとうございました。

【市町村課長】

以上で、「令和4年度 知事と市町村長との意見交換会」を閉会させていただきます。誠にありがとうございました。

以上